



8月1日21時

南の空に木星と土星が見えます。望遠鏡では木星の縞模様や衛星、土星の環が見えます。ぜひ、お近くの天文台で観察してください。

東の空高く、夏の大三角が見えます。頭の真上近くに見えるのが**こと座**のベガ（織姫星）、南東側が**わし座**のアルタイル（彦星）、北東側が**はくちょう座**のデネブです。デネブは「尾」の意味です。夏の大三角に重なる十字の姿が空飛ぶ白鳥に見えますね。夏の大三角に重なるように天の川が流れます。

南の空で、木星の右下に見えるオレンジ色の星は**さそり座**のアンタレスです。さそり座は引き伸ばしたSの字、またはアンタレスから左下の部分が釣針に見えます。土星の右下でティーポットのように見える星たちは**いて座**です。さそり座から視線を上げると**へびつかい座**と**へび座**、頭の真上近くにはHの字に星なら**ヘルクレス座**があります。ギリシャ神話では、いて座のケイローンはヘルクレスの育ての親であり、アスクレピオス（へびつかい座）の医術の先生とされています。

この他に、西の空には春の名残の星たち、東の空には秋の先駆けの星たちが見えています。空の暗いところでは、東西になら**黄道十二星座**たちも探して見ましょう。